

検体番号 3318 品名 リンゴ (福島県産)

測定日 2017.11.30 充填量(g) 403 測定時間(秒) 43200 測定温度(°C) 19.6

核種	濃度 (Bq/kg)	検出下限値 (Bq/kg)	計数率(cps)	備考
セシウム 137	1.32±1.12	0.9	0.02	検出
セシウム 134	不検出	0.8	0.00	
カリウム 40	17.3±14.8	11.3	0.02	

放射能測定結果

レポート出力日時: 2017/12/01 10:39
レポート生成ソフトウェア: CSK Monitor X Ver.2.8.4

測定環境

測定機器: CSK-3i-X(S/N: 027)	測定ソフトウェア: CSK Monitor X Ver.2.8.4
測定番号: 3318	測定場所: 阪神・市民放射能測定所
測定開始日時: 2017/11/30 11:19	測定担当: 安東
測定時間(秒): 43200	測定容器: 1Lマリネリ容器 (全量充填)

検体情報

検体名: リンゴ (福島県産) 12時間	重量(g): 403.0
採取場所: 福島県	採取日時: 2017/11/30 11:18
備考: 19.6°C 35.8%	

解析結果

	放射能濃度	測定下限	計数率
Cs-137:	1.32 ± 1.12 Bq/kg	0.9 Bq/kg	0.02 CPS
Cs-134:	不検出	0.8 Bq/kg	0.00 CPS
K-40:	17.3 ± 14.8 Bq/kg	11.3 Bq/kg	0.02 CPS

但し、不確かさはk=3を掛けた合成標準不確かさに基づいています。(3σ精度)
理論値±3.0%のエネルギー範囲にピークが検出された場合は[Peak]マークが表示されます。

【検体採取時の放射能濃度推定値】 Cs-137: 1.3 ± 1.1 Bq/kg Cs-134: N/A

※ グラフは半値幅4の移動平均で平滑化しています

阪神・市民放射能測定所の測定結果であることを証明します。
放射性セシウムを検出しました。原発事故由来と思われる。



コメント欄
 充填量が少ないため、しっかりとしたピークではありませんが、原発事故由来のセシウムを検出しています。

なお、放射能測定での数値は絶対値ではありません。機器や測定環境も左右する確率的な測定ですので、あくまでも参考値としてご活用ください。
 また、測定した検体の結果は、同じ生産場所、食材、製造品、同じ場所の土壌等で同じ数値が出るというものでもありません。さらに、今回の測定が検出なしでも、その食材について将来もずっと安全であるとも言えないことを、是非ご理解ください。